

審 議 (会 議) 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等名称	神奈川県災害医療対策会議
開催日時	平成25年8月27日(火) 15:15~16:30
開催場所	産業貿易センター6階 621号室(横浜市中区山下町2)
(役職名) 出席者	<p>(会長)神奈川県医師会理事(神奈川県災害医療コーディネーター) 小林信男</p> <p>神奈川県医師会副会長 澤井博司</p> <p>神奈川県病院協会常任理事 数野隆人</p> <p>神奈川県歯科医師会理事 外池利夫</p> <p>神奈川県看護協会専務理事 天野三紀子</p> <p>神奈川県精神科病院協会理事 山口哲顕</p> <p>神奈川県災害医療拠点病院連絡協議会運営調整会議副運営委員長 金井歳雄</p> <p>(副会長)神奈川DMAT連絡協議会副会長(神奈川県災害医療コーディネーター) 阿南英明</p> <p>北里大学病院救命救急センター講師(神奈川県災害医療コーディネーター) 竹内一郎(代理出席あり)</p> <p>東海大学医学部付属病院医学部救命救急医学准教授(神奈川県災害医療コーディネーター) 中川儀英</p> <p>(副会長)横浜市立大学大学院医学研究科・医学部医学科救急医学教室主任教授(神奈川県災害医療コーディネーター) 森村尚登</p> <p>聖マリアンナ医科大学病院救命救急センター副センター長(神奈川県災害医療コーディネーター) 和田崇文</p> <p>日本赤十字社神奈川県支部事業部救護課長 西嶋美貴子</p> <p>第三管区海上保安本部警備救難部環境防災課長 唐津智和</p> <p>神奈川県警察本部警備部危機管理対策課長 須藤正彦</p> <p>神奈川県消防長会会長(川崎市消防局長) 福井昭久</p> <p>神奈川県消防長会副会長(藤沢市消防局長) 松藤弘行(代理出席あり)</p> <p>横浜市健康福祉局医療政策室救急・災害医療課長 黒岩大輔</p> <p>川崎市健康福祉局医療政策推進室担当部長 南昭子</p> <p>相模原市健康福祉局福祉部地域医療課長 大貫末広</p> <p>横須賀市健康部地域医療推進課長 惣田晃(代理出席あり)</p> <p>藤沢市保健所地域保健課長 阿諏訪一美</p> <p>神奈川県都市衛生行政協議会代表 関野俊之</p> <p>神奈川県秦野保健福祉事務所長 南出純二</p> <p>神奈川県安全防災局安全防災部災害対策課長 金井信高</p> <p>神奈川県保健福祉局保健医療部健康危機管理課長 原田潔</p>
次回開催予定日	未定

<p>問い合わせ先</p>	<p>保健福祉局保健医療部健康危機管理課 健康危機管理グループ 山崎 電話番号 045(210)4634 (直通) ファックス番号 045(633)3770 フォームメール(以下をクリックすると、問い合わせフォームがご利用いただけます。) 保健福祉局 保健医療部 健康危機管理課のページ</p>		
<p>下欄に掲載するもの</p>	<p>議事録</p>	<p>議事概要とした理由</p>	
<p>審議(会議)経過</p>	<p>< 議題 > 1 神奈川県災害医療対策会議の会長、副会長の選任について 2 神奈川県災害医療対策会議の実施体制、検討スケジュール等</p> <p>< 審議概要 > 1 神奈川県災害医療対策会議の会長、副会長の選任について 委員の互選により、小林会長、阿南副会長及び森村副会長を選任した。</p> <p>2 神奈川県災害医療対策会議の実施体制、検討スケジュール等 神奈川県災害医療対策会議の実施体制、検討スケジュール等を事務局から説明した後、委員間の協議を行った。なお、今後、設置する専門部会の協議方法等は、会長一任とし、後日、事務局から次回会議等の日程等を連絡することとした。</p> <p>< 質疑概要 > 1 神奈川県災害医療対策会議の会長、副会長の選任について (事務局) 本会議は「災害時医療救護対策部会の委員をもって充てる」とのことですので、委員の皆様におかれましては、引き続きよろしくお願ひします。それでは、「議題1 災害医療対策会議の会長及び副会長の選任」でございます。会長及び副会長は、委員の互選で選任となります。まずは、会長への立候補又は、推薦をお願いいたします。 (委員) 小林委員に、会長をお願いしたいと思ひます。 (事務局) 小林委員、ご了承いただけますでしょうか。また、本日、出席の委員の皆さん、ご承諾いただけますでしょうか。 (全委員) 小林委員を部会長に選任します。(出席全委員の了承) (事務局) それでは、小林会長、議事の進行をお願いいたします。 (会長) それでは、副会長への立候補又は、推薦をお願いいたします。 (会長) 立候補者がいないようですので、私から推薦いたします。県の災害医療コーディネーターである、阿南委員、森村委員に副会長をお願いしたいと思ひますが、如何でしょうか。(出席全委員の了承) それでは、阿南副会長、森村副会長を選任します。</p>		

2 神奈川県災害医療対策会議の実施体制、検討スケジュール等

(会長)

それでは、「議題2 神奈川県災害医療対策会議の実施体制、検討スケジュール等」について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

参考資料2、資料3及び資料4により「組織及び運営方法」を、資料5により「実施体制、スケジュール等」を説明

(会長)

事務局から説明があったように、平時に災害時の医療救護について、何を準備すべきかを4つの専門部会を作って、協議していきたい。本議題について、質問、意見等をお願いします。

(委員)

専門部会の委員は、この対策会議のメンバーだけですか。実務担当者が出席することは可能ですか。

(事務局)

専門部会の構成団体は、資料のとおりですが、その構成員又は出席者は、実務的かつ専門的な協議ができるよう実務担当者等が出席することもできます。

(会長)

日赤については、いかがですか。多くの専門部会に入ってもらっていますが、日赤の活動とぶつかってまずいなど、何か課題はありますか。

(委員)

活動するというのは、県内が発災したときに、災害医療コーディネーターの先生方とともに活動することを想定しているのでしょうか。それとも日赤チームを派遣するときも想定しているのでしょうか。日赤が救護班を県外に派遣する場合は、日赤の判断で行いますが、県内で活動する場合には、災害医療コーディネーターの先生方と相談させていただきながら進めさせていただきたいと思います。日赤は、災害発生直後から救護班を被災地に派遣し活動を開始します。もし、神奈川県が被災した場合も支援を行っていきますので、どうぞよろしくをお願いします。

(委員)

災害拠点病院連絡協議会は、従来活発に活動していました。今までの体制は、どうするのでしょうか。

(会長)

現時点では、そのままの体制で整合性を持たせています。今後、災害拠点病院協議会の先生の話しを伺っていきたい。

(委員)

歯科医師は、口腔ケア等の活動を重視しています。歯科医師会を医療救護体制部会の構成員に加えては如何でしょうか。

(会長)

歯科医師会を医療救護体制部会の構成員とします。歯科医師会と薬剤師会を医療救護体制部会の構成員とするかは事前打合せの際にも意見がありました。他に皆さんの意見がないようでしたら、コア(核)となる構成員はこれで決定していくこととなります。

これからは、色々な方面の方々に調整をお願いしていくことになります。行政、保健所からの意見はありませんか。

(委員)

保健所として、できる限り対応させていただきます。

(会長)

急性期から独立した大きな問題点として、避難所・救護所の医療を担当するJMATといますか、災害が慢性期になった際の公衆

衛生の課題や取組を検討していく必要があります。保健所については、その点のご指導をお願いします。

(副会長)

共有すべきことはALL神奈川だと思います。医療資源には限りがあります。県内に留まる災害だけでなく、大きな災害が起こった際に、少なくとも自治体を超えるような形で、全体を面でささえしていく会議体が絶対に必要だと思っています。今まで個々でやられていた委員会あるいは会議が集合体になって力を合わせることは非常に大事な会になります。今回、色々な方のご尽力によって、全国の核となれるような会になれるよう全体の目標に向かうことが大事であり、皆さんで共有していききたいと思います。

平時からの情報交換ができていなければ災害時にできるわけがない。そのための体制づくりとして事務局をお願いし、皆さんとも共有したいことが2点あります。

1点目として、リスク評価です。我々の地域のリスク評価を今一度、災害の規模によって、どの地域がどの程度のダメージを受けるのか、どこがサポートしてくれるのか。被災地域内の活動を考えなければいけない。県内の地域によっても、災害を受ける地域と受けにくい地域があるだろうし、その仕訳をお願いしたい。レスポンスを類型化したい。我々が何のために、これをやっていくのかを共有することが大事です。

2点目として、これを機会に県と政令市の関係をさらに円滑化して、既存の会議体や組織をうまく動かせるような仕組みを皆で考えられるいい機会だと思います。横浜市、川崎市、相模原市と政令市が3つありますが、それぞれの体制を生かしつつ、県全体としてどうやっていけるのか、実効性のある連携をぜひ考えていきたい。一律に同じ地域は同じようにやるからといって、政令市は政令市でやるんだというもおかしい。まずは、皆さんでやっていきましょう。

(会長)

今の2つの案に対して、どなたか意見はありますか。県の金井委員はどうですか。

(委員)

森村先生の言うとおりです。医療関係者、防災、警察、自衛隊も参加していただいている会議ですので、限りある医療資源を1つに、面で支えるような検討ができたと思います。

(会長)

震災の想定をやり直すことについては如何でしょうか。

(委員)

国は、首都直下型地震、南海トラフ地震の被害想定をやり直していきます。それに伴いまして、今年度から2か年で県としても県内の最大地震の被害想定調査、検討をやり直していきます。

(副会長)

皆さんには、4つの専門部会に参加していただきます。医療救護体制部会と他の3つの部会は意味合いが違うと思います。PDCAで考える場合、プランニング(計画)を立てるのが、医療救護体制部会となり、今の時点で思いついたのがこの検討課題となっています。今後の検討状況によって、新たな検討課題が出てきて、医療救護体制部会に戻って、さらに課題を増やしたり、専門部会の再編を検討していくものと思われます。逆に言うと、目まぐるしく変わるからこそ、生きた会議体につながると思いますので、皆さんのご協力をお願いします。

(委員)

東日本大震災では、石巻に医療支援に行きました。日赤石巻病院

の石井先生が教えてくださったのですが、平時の組織を超えた人のつながりが大事なこと、願わくば、この会議体、様々な部会を通じ、医療だけでなく、警察、消防、ここには入っていないが、NTTなどとも顔の見える人間関係をつくっていききたい。つながりを広げA L L神奈川が実現できるようにしていきたい。

(会長)

心のケアがありますが、急性期の段階から心のケアが必要との考え方もありますが、精神科病院協会はどうでしょうか。

(委員)

精神科医療は、急性期では出番がありません。当初は救命の先生方に頑張っていたが、その後、時間が経ってから心のケアが必要となってきます。よろしくお願いします。

(会長)

看護協会はどうでしょうか。

(委員)

看護協会は、災害支援ナースを育成しています。災害支援ナース育成研修を受講した者などが被災地等に行っています。看護協会の看護師には対応範囲の広い専門者がいますので、専門部会には、適任者を選出していききたいと考えています。

(委員)

気になることがあるのですが、県庁は、災害対策本部は第2分庁舎に、医療救護本部は本庁舎に、置かれますが、その位置関係は、どうなるのでしょうか。医療救護本部が、自衛隊、警察などと連携することとなると、本部自体も、もっと連携しやすい位置関係、レイアウトにした方がよいのではないのでしょうか。

(委員)

実際に災害が発生した際には、第二分庁舎に災害対策本部が置かれ、今は執務室になっている第二分庁舎5階のフロアを使って、この一画に医療救護本部ができる形で訓練を行っています。現在、執務室のレイアウト改善を検討しているところで、常設で医療救護本部用の机を置けるよう検討を進めているところです。

(委員)

医療救護本部という言葉が知られていません。拠点病院なども含めて、これを宣伝することが必要と考えています。

(会長)

神奈川方式を我々が作ったのですが、宣伝がされていないし、また、災害拠点病院の先生方とディスカッションをかなりして、これをどういう風に使うのか動かしていくのかを、それこそ今年度中には決めていくことが急務だと考えています。

(委員)

検討スケジュールは、2年間となっています。災害医療コーディネーター会議は適宜開催ということで分かるのですが、今年度は、この親会は開かず、3月に専門部会を開催するようですが、もう少し検討のための協議会を開催した方がよいのではないのでしょうか。

(委員)

専門部会を開催するまでに、事務局で、検討課題などの情報を整理し、委員の皆様と個別に意見を聴き、適宜、災害医療コーディネーターとの会議を設け、分野ごとの課題整理をし、委員の皆様にはそれをフィードバックする。ある程度有益な議論ができる形にした段階で専門部会を開催したいと考えておりまして、このようなスケジュール案を作成しています。

(委員)

このたび、新たなメンバーに第三管区海上保安本部を加えていた

	<p>だきました。私ども海上保安庁も医療救護の関係、航空機、船舶を所有しています。それらをどのように、こちらの会議で検討される中で、使用していただけるのか、具体的な道筋をつけられるといいと考えていますので、専門部会にも積極的に参画していきます。よろしくをお願いします。</p> <p>(会長) ありがとうございます。よろしくをお願いします。消防は如何でしょうか。</p> <p>(委員) 私ども消防も東日本大震災の経験を踏まえながら専門部会でも対応させていただければと思っています。よろしくをお願いします。</p> <p>(副会長) 医療救護体制部会は、プランニングをする会ですので、特に早く進めた方がよいと思います。この会は、各専門部会の初動を含めたシミュレーションの議題をやってほしい。1～2か月でやっていきたい。</p> <p>(会長) スケジュールについては、事務局と相談し見直しを考えていきます。予算の限度があるのは分かるが、各団体から専門部会委員の推薦を受け、早期に専門部会を、年度末に対策会議を開催し、次年度につなげていきたい。</p> <p>(委員) 専門部会には各団体からの出席は、1名だけでしょか。複数名も可能でしょうか。また、オブザーバー参加、代理出席も大丈夫でしょうか。</p> <p>(会長) 具体的な人数はまだ決めていませんが、原則、各団体1人と考えています。複数の方に出席していただくのを拒むものでもありません。事務局もそれでよいでしょうか。</p> <p>(事務局) すべて大丈夫です。</p> <p>(会長) 他によろしいでしょうか。それでは、今回、頂きましたご意見を踏まえまして、各専門部会での検討、協議を効率的・効果的に進めていきたいと思えます。今後、専門部会を開催していくこととなりますが、専門部会の部会長の選任、専門部会での協議方法などは、会長に、一任でお願いしたいと考えています。いかがでしょうか。</p> <p>(全委員) 会長に一任します。(出席全委員の了承)</p> <p>(会長) ありがとうございます。では、会長への一任ということで進めてまいります。委員の皆様には、今後の専門部会での検討課題の協議方法などを含めて、事務局を通じて、後日、ご連絡差し上げます。それでは、対策会議を終了します。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>
<p>会 議 資 料</p>	<p>資料1 神奈川県災害医療対策会議委員名簿 資料3 神奈川県災害医療対策会議設置要綱 資料4 神奈川県災害医療対策会議傍聴要領 資料5 神奈川県災害医療対策会議の実施体制、検討スケジュール 参考資料2 神奈川県医療救護計画(概要版)平成24年12月改訂版 参考資料3 神奈川県医療救護計画 平成24年12月改訂版</p>